

### 3 一般会計の財政構造

#### (1) 歳入

自主財源と依存財源の状況は、表4のとおりである。

表4

(単位：百万円)

区 分	平成23年度		平成22年度		増減額 (A)-(B)=(C)	増減率(%) (C)/(B)
	(A)	構成比(%)	(B)	構成比(%)		
歳入総額	368,084	100.0	369,095	100.0	△ 1,011	△ 0.3
内 自主財源	230,616	62.7	226,366	61.3	4,250	1.9
訳 依存財源	137,468	37.3	142,729	38.7	△ 5,261	△ 3.7

#### ① 自主財源

決算額は2,306億1,600万円となり、構成比は62.7%、前年度に比べ42億5,000万円、1.9%の増となった。

これは、繰入金が市債管理基金からの繰入を抑制したことに伴い減額となったものの、市税が市たばこ税の増などにより増額となったほか、諸収入が中小企業資金融資預託金収入の増により増額となったことなどによるものである。

#### ② 依存財源

決算額は1,374億6,800万円となり、構成比は37.3%、前年度に比べ52億6,100万円、3.7%の減となった。

これは、地方交付税が震災復興特別交付税の創設などに伴い増額となったものの、市債が第三セクター等改革推進債の減などにより減額となったことなどによるものである。

## (2) 歳 出

性質別の状況は表5のとおりである。

表5

(単位：百万円)

区 分	平成23年度		平成22年度		増減額 (A)-(B)=(C)	増減率(%) (C)/(B)
	(A)	構成比(%)	(B)	構成比(%)		
義務的経費	193,767	53.1	192,196	52.2	1,571	0.8
人件費	58,106	15.9	57,820	15.7	286	0.5
扶助費	78,983	21.7	74,748	20.3	4,235	5.7
公債費	56,678	15.5	59,628	16.2	△ 2,950	△ 4.9
投資的経費	32,872	9.0	35,510	9.6	△ 2,638	△ 7.4
普通建設(補助)事業費	9,966	2.7	11,162	3.0	△ 1,196	△ 10.7
普通建設(単独)事業費	18,057	5.0	24,225	6.6	△ 6,168	△ 25.5
災害復旧費	4,849	1.3	123	0.0	4,726	3,837.7
その他の経費	138,332	37.9	140,432	38.2	△ 2,100	△ 1.5
計	364,971	100.0	368,138	100.0	△ 3,167	△ 0.9

※表示単位未満の端数調整により増減額が一致しないことがある。

### ① 義務的経費

決算額は1,937億6,700万円となり、構成比は53.1%、前年度に比べ15億7,100万円、0.8%の増となった。

これは、公債費が元金償還の減により29億5,000万円の減となったものの、扶助費が生活保護費や子ども手当支給事業費の増により、42億3,500万円の増となったことなどによるものである。

### ② 投資的経費

決算額は328億7,200万円となり、構成比は9.0%、前年度に比べ26億3,800万円、7.4%の減となった。

これは、災害復旧費が、インフラや公共施設の復旧のため47億2,600万円の増となったものの、普通建設事業費の単独事業費が、市道安全施設等整備事業費や新港横戸町線整備事業費などの減により61億6,800万円の減となったことなどによるものである。

### ③ その他の経費

決算額は1,383億3,200万円となり、構成比は37.9%、前年度に比べ21億円、1.5%の減となった。

これは、中小企業資金融資預託貸付金が増となったものの、国民体育大会開催事業費や土地開発公社解散に伴う代位弁済が減となったことなどによるものである。